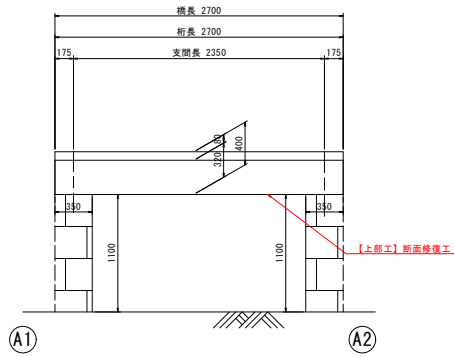


補修一般図 S=1:25

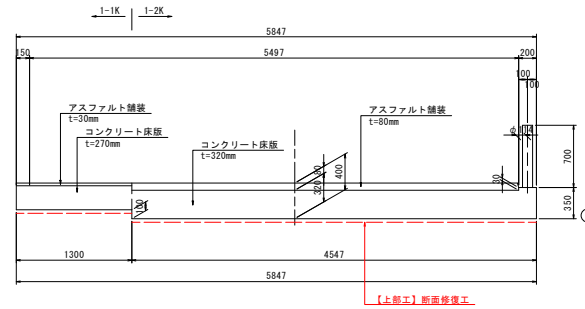
明神明泉寺線1号橋

側面図

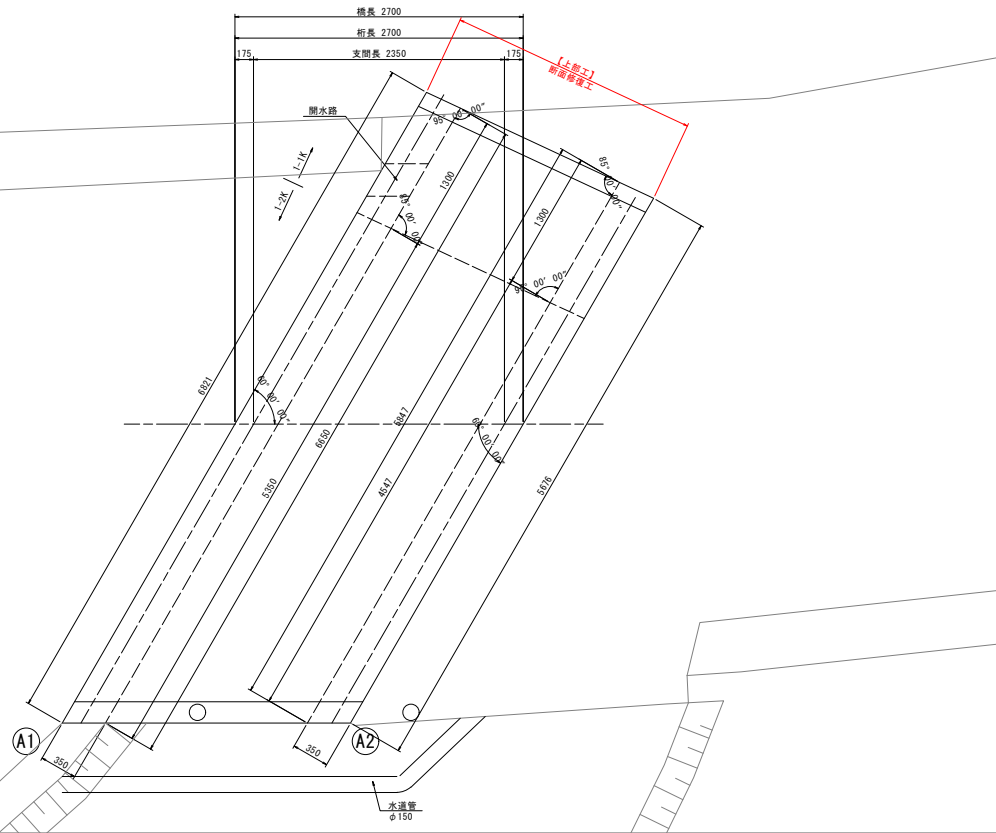


断面図 S=1:30

A2橋台前面



平面図



設計条件

道路条件	
路線	市道 明神明泉寺線
道路規格	不明
設計速度	不明
設計荷重	不明
大型車交通量	-
計画交通量	-
交差物件	水路
幾何条件	
橋名	明神明泉寺線1号橋
橋長	L=2,700m
桁長	2,700m
支間長	2,350m
総幅員	5,847~6,650m
有効幅員	5,497~6,300m
斜角	$\theta = 60^{\circ} 00' 00''$ (道路中心)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	
横断勾配	
構造形式	
上部工	RC中央床版橋
舗装	アスファルト舗装 t=30~80mm
下部工	その他(石積橋台) (A1, A2)
基礎工	直接基礎
支承	-

【補修項目】

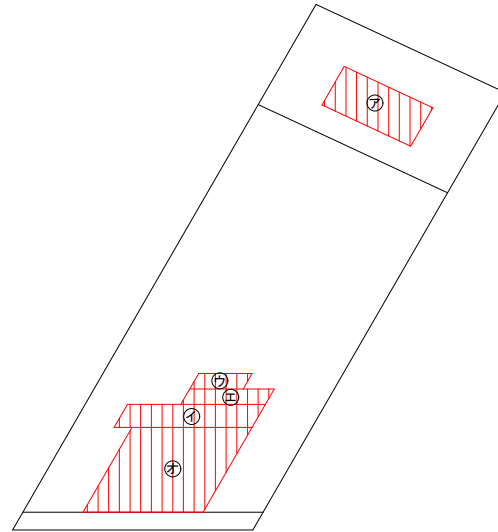
工法	判定区分	部材	規格	備考
断面修復工	III	主桁	ポリマーセメントモルタル	

図面番号	第 1 号	図面総数	全 6 葉
工事名称	明神明泉寺線1号橋外橋梁補修工事		
図名	補修一般図	縮尺(A1): 図示	
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計	製図
鳴門市 都市建設部 土木課			

補修詳細図 S=1:30

明神明泉寺線1号橋

床版下面



断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W (mm)	長さ L (mm)	深さ T (mm)	面積 A (m ²)	体積 V (m ³)
主桁0101	ア	鉄筋露出	1100	300	50	0.1650	0.0215
主桁0101	イ	鉄筋露出	1550	300	50	0.4650	0.0233
主桁0101	ロ	鉄筋露出	600	200	50	0.1200	0.0060
主桁0101	エ	鉄筋露出	950	200	50	0.1900	0.0095
主桁0101	オ	鉄筋露出	1350	1100	50	1.4850	0.0743

凡例
⑦～: 断面修復工法

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・互板	断面修復工

凡例

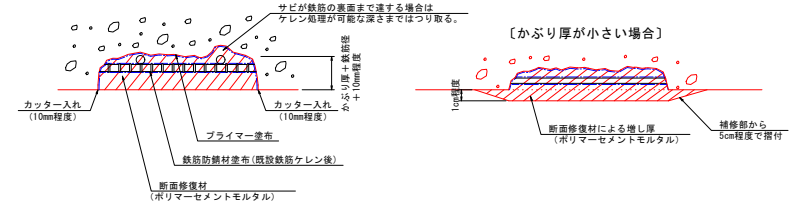
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
互板・空洞	
漏水・滲水	

《ひび割れの線種》

	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

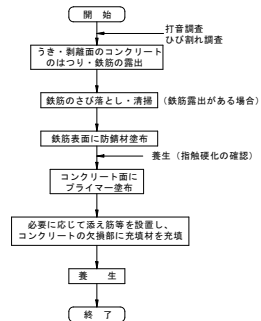
注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
 注) 遊離石灰を拝う箇所は、要調査の上で補修すること。
 注) 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法（もしくはVカット工法）で取り除き、ポリマーセメントモルタル層状による充填工法に変更し補修すること。
 注) 配筋間引きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

断面修復工詳細図



※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
 ※ 補修部縁端は、フェーザエッジを造じないようにカッターで切れ込みを入れること。
 ※ 鉄筋のかり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って張り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の巻線等の残鉄は可能な限り除去して断面修復すること。
 ※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
 ※ 鉄筋がある場合は、露出鉄筋の表面、既設鉄筋の粗骨材寸法程度まで除去する。（10～20mm程度）
 ※ 互板部で粗骨材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
 ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

《断面修復工法の施工要領》

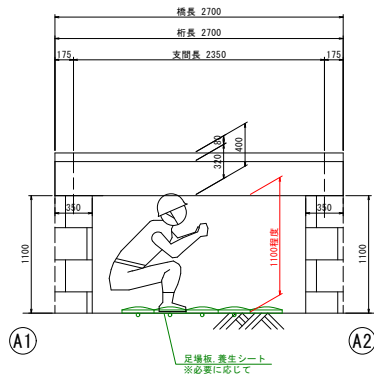


図面番号	第 2 号	図面総数	全 6 葉
工事名称	明神明泉寺線1号橋外橋梁補修工事		
図名	補修詳細図	縮尺(A1):	図示
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

施工要領図 S=1:25

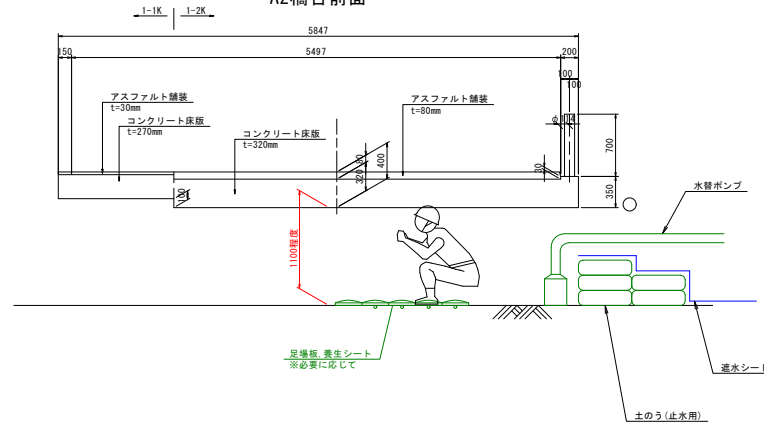
明神明泉寺線1号橋

側面図

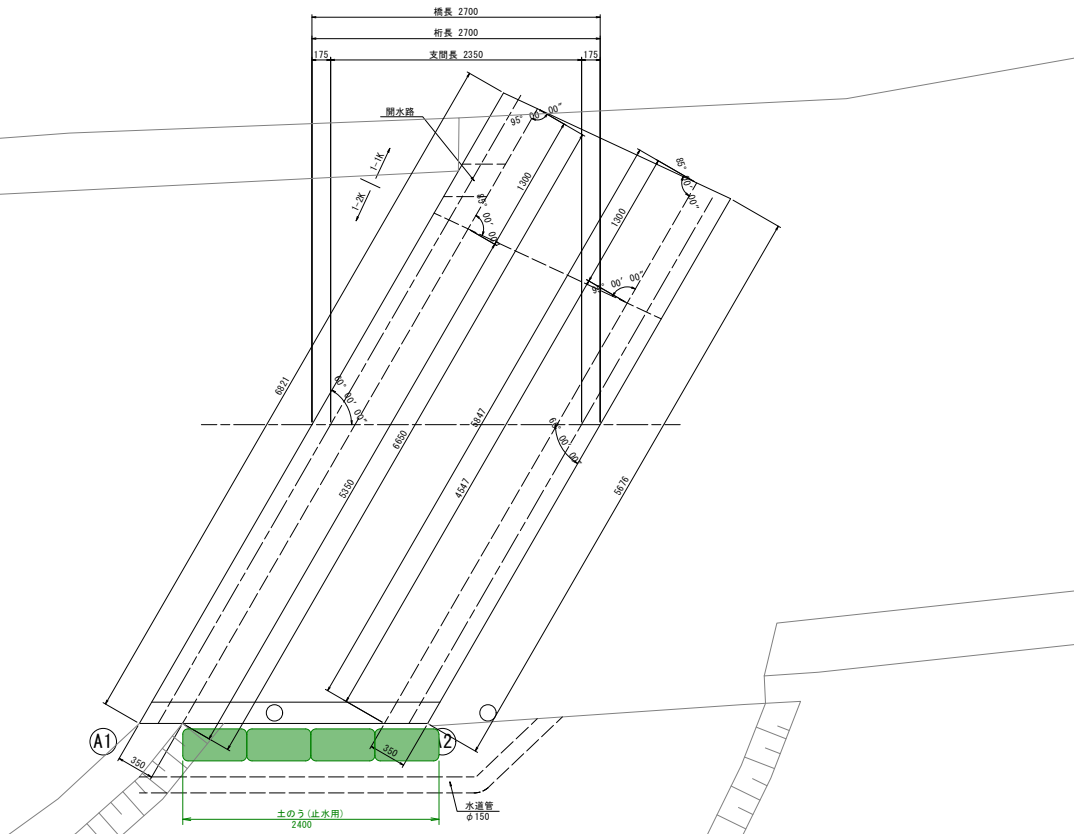


断面図 S=1:30

A2橋台前面



平面図



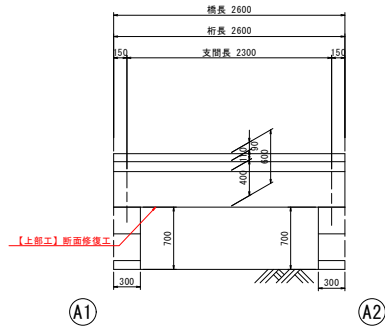
図面番号	第 3 号	図面総数	全 6 葉
工事名称	明神明泉寺線1号橋外橋梁補修工事		
図名	施工要領図	縮尺(A1): 図示	
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

鳴門市 都市建設部 土木課

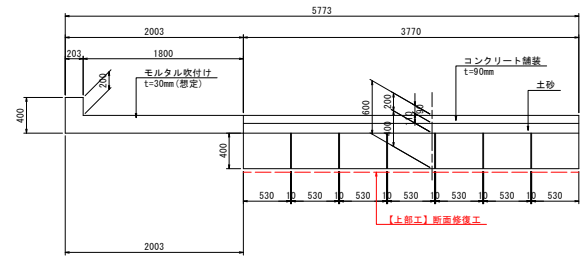
補修一般図 S=1:30

明神本浦上1号線1号橋

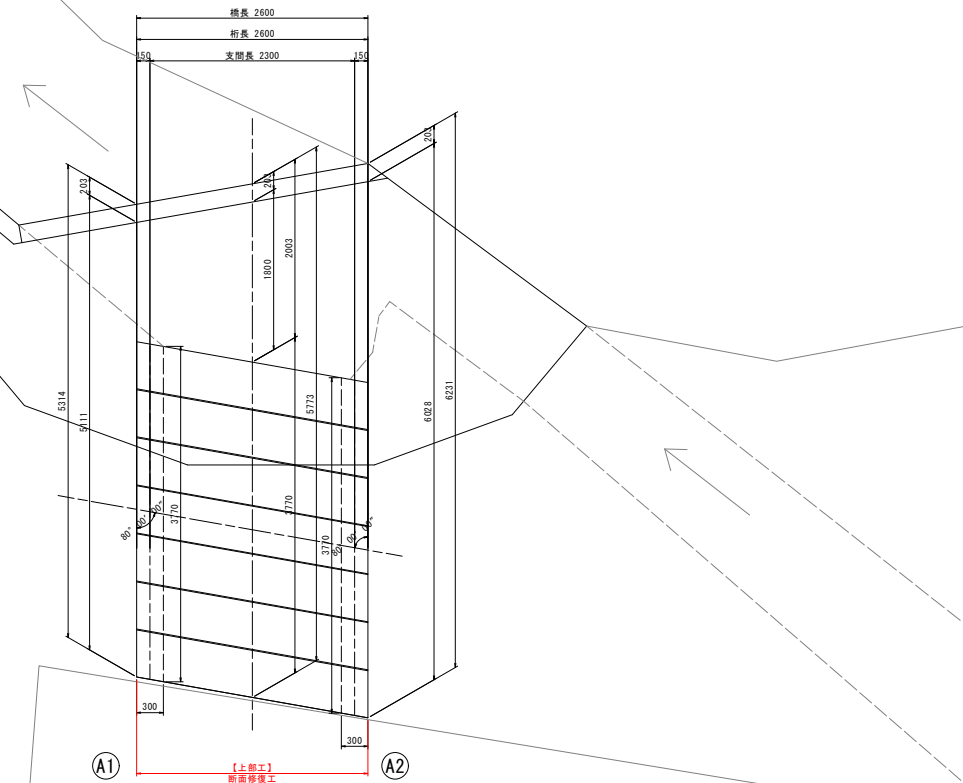
側面図



断面図



平面図



設計条件

道路条件	
路線	市道 明神本浦上1号線
道路規格	不明
設計速度	不明
設計荷重	不明
大型車交通量	-
計画交通量	-
交差物件	水路
幾何条件	
橋名	明神本浦上1号線1号橋
橋長	L=2,600m
桁長	2,600m
支間長	2,300m
総幅員	5,314~6,231m
有効幅員	5,111~6,028m
斜角	$\theta = 80^\circ 00' 00''$ (道路中心)
平面線形	R = ∞
縦断勾配	
横断勾配	
構造形式	
上部工	RC床版橋(その他)
舗装	コンクリート舗装 t=90mm
下部工	その他(石積橋台) (A1, A2)
基礎工	直接基礎
支承	-

【補修項目】

工法	判定区分	部材	規格	備考
断面修復工	111	主桁	ポリマーセメントモルタル	

図面番号	第 4 号	図面総数	全 6 葉
工事名称	明神明泉寺線1号橋外橋梁補修工事		
図名	補修一般図	縮尺(A1): 図示	
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計	製図
鳴門市 都市建設部 土木課			

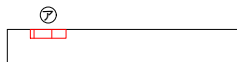
補修詳細図 S=1:30

明神本浦上1号線1号橋

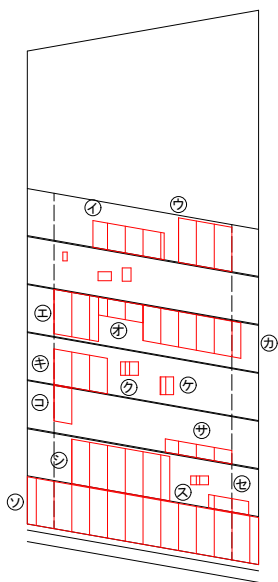
断面修復工

頂版下面

下側
上側



主桁左側面



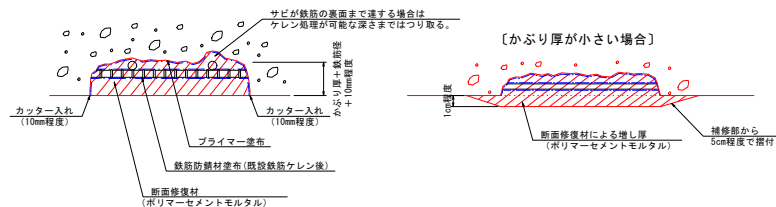
断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 (mm)	延長 (mm)	深さ (mm)	面積 (㎡)	体積 (m ³)
主桁0101	ア	鉄筋露出	100	400	50	0.0400	0.0020
主桁0101	イ	鉄筋露出	300	800	50	0.2400	0.0120
主桁0101	ウ	鉄筋露出	500	600	50	0.3000	0.0150
主桁0301	エ	鉄筋露出	400	600	50	0.2400	0.0120
主桁0301	オ	鉄筋露出	200	500	50	0.1000	0.0050
主桁0301	カ	鉄筋露出	1100	400	50	0.4400	0.0220
主桁0401	キ	鉄筋露出	400	600	50	0.2400	0.0120
主桁0401	ク	鉄筋露出	150	200	50	0.0300	0.0015
主桁0401	ケ	鉄筋露出	200	150	50	0.0300	0.0015
主桁0501	コ	鉄筋露出	400	200	50	0.0800	0.0040
主桁0501	サ	鉄筋露出	750	150	50	0.1125	0.0056
主桁0601	シ	鉄筋露出	1100	500	50	0.5500	0.0275
主桁0601	ス	鉄筋露出	100	200	50	0.0200	0.0010
主桁0601	セ	鉄筋露出	150	450	50	0.0675	0.0034
主桁0701	ソ	鉄筋露出	530	2600	50	1.3780	0.0689

凡例

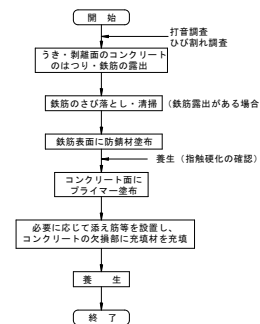
⑦～:断面修復工法

断面修復工詳細図



- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁部は、フェザーエッジが得られないようにはカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のふり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように塗って張り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の巻線等の残骸は可能な限り除去して断面修復すること。
- ※ はつり深さは適量調整するものとし、筋筒部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10～20mm程度)
- ※ 底板部で粗骨材が露出している部分においては筋筒部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は筋を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

【断面修復工法の施工要領】



【補修工法一覧表】

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注入工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	遊離石灰充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・互板	断面修復工

凡例

ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
互板・空洞	
漏水・滞水	

【ひび割れの線種】

	ひび割れ幅0.2mm未満
	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

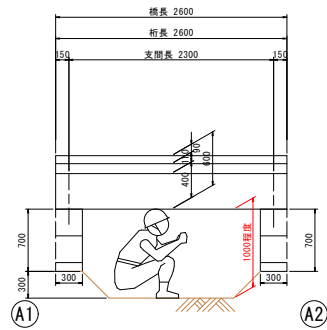
- 注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
 注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
 注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
 遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻しによる充填工法に変更し補修すること。
 注) 配筋無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

図面番号	第 5 号	図面総数	全 6 葉
工事名称	明神明泉寺線1号橋外橋梁補修工事		
図名	補修詳細図	縮尺(A1):	図示
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

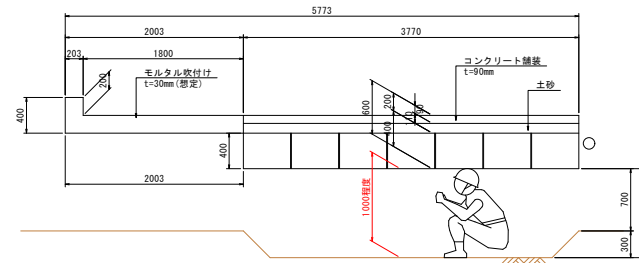
施工要領図 S=1:30

明神本浦上1号線1号橋

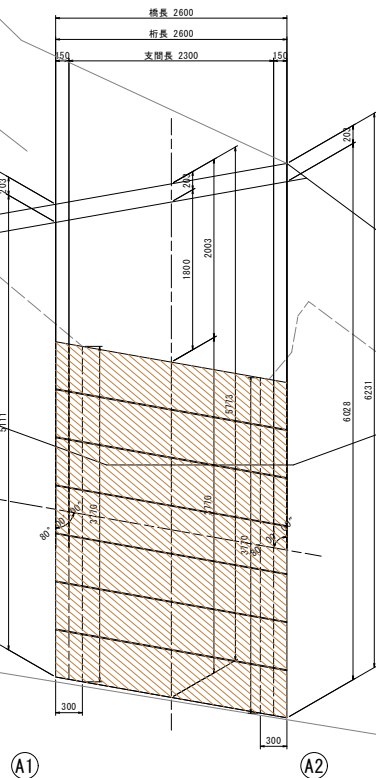
側面図



断面図



平面図



図面番号	第 6 号	図面総数	全 6 葉
工事名称	明神明泉寺線1号橋外橋梁補修工事		
図名	施工要領図	縮尺(A1): 図示	
製作年月	令和6年8月	所属年度	令和6年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			